

第5号様式 (第9条関係)

(第1片)

(表)

特定都市施設整備項目表 (共同住宅等以外の建築物用)

1 所在地	
2 名称	

- 1 不特定かつ多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用するもの(遵守基準)
 不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用するもの(努力基準)

(遵)遵守基準	不特定かつ多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用するもの(移動等円滑化経路等を含む)⇒読み替えあり(※1) (視)不特定かつ多数の者が利用し、又は主として視覚障害者が利用するもの (特)不特定かつ多数の者が利用する建築物(床面積2,000㎡以上)			
(努)努力基準	不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用するもの(移動等円滑化経路等を含む) (視)不特定かつ多数の者が利用し、又は主として視覚障害者が利用するもの			
整備項目	チェック		整備内容	緩和措置
	遵	努		
廊下等		1	表面は粗面、又は滑りにくい仕上げ	
		—	2 (視) 階段又は傾斜路の上端に近接する部分に点状ブロック等(※9)を敷設	1
階段		—	1 段がある部分に、手すりの設置	
		—	2 表面は粗面、又は滑りにくい仕上げ	
			3 踏面の端部とその周囲とを色の明度、色相又は彩度の差が大きいことで段を容易に識別可能	
			4 段鼻の突き出しその他つまずきの原因となるものを設けない構造	
		—	5 (視) 段の上端に近接する踊場の部分に点状ブロック等(※9)を敷設	2
			6 主たる階段は回り階段でないこと	
			7 階段のうち1以上は、次に掲げるもの	3
		—	① 踊り場に、手すりの設置	4
			② けあげ18cm以下、踏面26cm以上、それぞれ一定とする	4
			③ 階段の幅 120cm以上(手すりの幅は10cmを限度としてないものとみなす)	4
階段に代わり、又はこれに併設する傾斜路	—	1	こう配1/12を超え又は高さ16cmを超える傾斜がある部分に手すりの設置	
		2	表面は粗面、又は滑りにくい仕上げ	
		3	前後の廊下等とを色の明度、色相又は彩度の差が大きいことでその存在を容易に識別可能	
	—	4	(視) 傾斜の上端に近接する踊場に点状ブロック等(※9)を敷設	5
便所(※2)		1	床の表面は粗面、又は滑りにくい仕上げ	
		2	便所のうち1以上(男女別の場合はそれぞれ)は次に掲げるもの	
	—	①	車いす使用者用便房(※10)を1以上設置	
		②	水洗器具(オストメイト対応)が設置されている便房を1以上設置	
		③	ベビーチェア等を設けた便房を1以上設置、便房及び便所の出入口にその旨表示	
		④	ベビーベッド等を設置(他におむつ交換ができる場所を設ける場合を除く)、便所の出入口にその旨表示	
浴室等(※3)		1	床の表面は粗面、又は滑りにくい仕上げ	
		2	次に掲げる基準に適合する浴室等を1以上設置(男女別の場合はそれぞれ)	
		①	浴槽、シャワー、手すり等の適切な設置	
		②	車いす使用者等が円滑に利用できる空間の確保	
		③	出入口の幅(開放時有効)85cm以上	
宿泊施設の客室		④	戸は自動的に開閉する構造その他の車いす使用者が容易に開閉し通過可能な構造とし、その前後に高低差なし	
	—	1	宿泊施設で客室の総数が50以上の場合、車いす使用者用客室を1以上設置	
	—	2	車いす使用者用客室の便所は次に掲げるもの	6
		①	便所内に車いす使用者用便房(※10)を設置	
		②	車いす使用者用便房及び当該便房が設置されている便所の出入口幅(開放時有効)80cm以上	
		③	戸は自動的に開閉する構造その他の車いす使用者が容易に開閉し通過可能な構造とし、その前後に高低差なし	
		3	車いす使用者用客室の浴室又はシャワー室は次に掲げるもの	7
		①	車いす使用者等が円滑に利用できる構造(※11)	
		②	出入口幅(開放時有効)80cm以上	
		③	戸は自動的に開閉する構造その他の車いす使用者が容易に開閉し通過可能な構造とし、その前後に高低差なし	
観覧席・客席(※4)		1	観覧席、客席を設ける場合は、次に定める構造とする	
	—	①	車いす使用者のための観覧席、客席を出入口から容易に到達でき、かつ観覧しやすい位置に1以上設置	
		②	集団補聴設備等、高齢者、障害者等の利用に配慮した設備を設置	
敷地内の通路		1	表面は粗面、又は滑りにくい仕上げ	
		2	段がある部分は次に掲げるもの	
		①	手すりの設置	
		②	踏面の端部とその周囲とを色の明度、色相又は彩度の差が大きいことで段を容易に識別可能	
		③	段鼻の突き出しその他つまずきの原因となるものを設けない構造	
		3	傾斜路は次に掲げるもの	
駐車場(※5)	—	①	こう配1/12を超え又は高さ16cmを超え、かつ、こう配1/20を超える傾斜には手すりの設置	
		②	前後の通路との色の明度、色相又は彩度の差が大きいことでその存在を容易に識別可能	
	—	1	次に掲げる車いす使用者用駐車施設を1以上設置	
		①	幅 350cm以上	
	—	②	車いす用駐車施設から利用居室までの経路の長さができるだけ短くなる位置	
	—	2	車いす使用者用駐車施設又は付近に利用居室までの経路についての誘導表示を設置	
標識		1	移動等円滑化措置済みEVその他の昇降機、便所、駐車施設付近に存在を表示する標識(※12)を設置	
案内設備		1	建築物又はその敷地に下記の案内設備を設置(案内所を設ける場合を除く)	
		①	移動等円滑化の措置済みEVその他の昇降機、便所、駐車施設の配置を表示した案内板等の設置	8
		②	移動等円滑化の措置済みEVその他の昇降機、便所の配置を点字等(※13)で視覚障害者に示す設備の設置	

案内設備までの経路	—	1	(視) 道等から案内設備(案内所がある場合は案内所)までの経路の一以上→次の視覚障害者移動等円滑化経路	9
	—	①	線状ブロック等(※14)、点状ブロック等(※9)を適切に敷設又は音声装置等で視覚障害者を誘導する設備を設置	10
		②	車路に近接する部分に点状ブロック等(※9)を敷設	
	—	③	段・傾斜路の上端に近接する部分に点状ブロック等(※9)を敷設	11
公共的通路		1	建築物外部の公共的通路に係る構造は次のもの(1以上)	
		①	通路の有効幅200cm以上とし、通行に支障のない高さ空間を確保	
		②	通路面 段差の禁止	
		③	通路面 粗面又は滑りにくい仕上げ	12
		④	敷地外の道路又は公共的通路等と連続性を確保して視覚障害者用誘導ブロックを敷設	
		⑤	階段を設ける場合は、基準に定める構造(※15)とする	13
		2	建築物内部の公共的通路に係る構造は次のもの(1以上)	
		①	通路の有効幅200cm以上とし、当該部分の天井の高さ250cm以上とする	
		②	通路の床 段差の禁止	14
		③	通路の床 粗面又は滑りにくい仕上げ	
	④	道路又は建築物外の公共的通路等と連続性を確保して視覚障害者用誘導ブロックを敷設		
	⑤	階段を設ける場合は、基準に定める構造(※15)とする		

2 移動等円滑化経路等に追加される整備基準

(遵)遵守基準	不特定かつ多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用するもの(移動等円滑化経路等に追加される基準)			
(努)努力基準	不特定かつ多数の者が利用し、又は主として視覚障害者が利用するもの (特)不特定かつ多数の者が利用する建築物(床面積2,000㎡以上)			
(努)努力基準	不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用するもの(移動等円滑化経路等に追加される基準)			
(視)不特定かつ多数の者が利用し、又は主として視覚障害者が利用するもの				
整備項目	チェック	整備内容		緩和措置
	遵	努		
移動等円滑化経路等		1	移動等円滑化経路等上には、階段又は段を設けない → 傾斜路、EVその他の昇降機を併設している場合は、この限りでない	
出入口		1	幅(開放時有効)85cm以上(直接地上に通ずる出入口・EVのかご・昇降路の出入口を除く)	
		2	直接地上に通ずる出入口の幅(開放時有効)100cm以上	
		3	戸は自動的に開閉する構造その他の車いす使用者が容易に開閉し通過可能な構造とし、その前後に高低差なし	
廊下等		1	幅 140cm以上	
		2	戸は自動的に開閉する構造その他の車いす使用者が容易に開閉し通過可能な構造とし、その前後に高低差なし	
	—	3	(視) 階段の下端に近接する部分に点状ブロック等(※9)を敷設	15
		4	授乳及びおむつ交換のできる場所を設置	16
階段に代わり又はこれに併設する傾斜路		1	幅 140cm以上(階段に併設する場合は90cm以上)	
		2	こう配 1/12以下	
		3	高さが75cmを超える場合は、75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場を設置	
	—	4	手すりの設置	
		5	両側に側壁又は立上りの設置	
エレベーター及びその乗降ロープ		1	始点、終点に車いす使用者が安全に停止できる平坦な部分の設置	
	—	1	利用居室、車いす使用者用便所、車いす使用者用駐車施設のある階及び地上階に停止すること	
		2	かご・昇降路の出入口の幅(開放時有効)80cm以上(建築物の床面積が5000㎡を超える場合は90cm以上)	
		3	かごの奥行き 135cm以上	
		4	乗降ロープは高低差なく、幅及び奥行き 150cm以上	
		5	かご及び乗降ロープに車いす使用者の利用しやすい位置に制御装置の設置	
		6	かご内に、停止する予定の階、かごの現在位置を表示する装置の設置	
		7	乗降ロープに、到着するかごの昇降方向を表示する装置の設置	
	—	8	(特) かごの幅 140cm以上	
	—	9	(特) 車いすの転回に支障のない構造	
	—	10	(視) かご内に、到着する階、かご・昇降路の出入口の戸の閉鎖を知らせる音声装置の設置	17
	—	11	(視) かご・乗降ロープの制御装置(車いす利用者が利用しやすい位置等)は、点字等(※13)視覚障害者が円滑に操作可能な構造	17
—	12	(視) かご又は乗降ロープに到着するかごの昇降方向を知らせる音声装置の設置	17	
特殊な構造又は使用形態の昇降機		1	エレベーターにあつては次に掲げるもの	
		①	平成12年建設省告示第1413号第1第7号に規定するもの	
		②	かごの幅 70cm以上 かつ 奥行き 120cm以上	
敷地内の通路	—	2	車いす使用者がかご内で方向転換の必要ある場合は、かごの幅・奥行きが十分確保されていること	
		2	エスカレーターにあつては、平成12年建設省告示第1417号第1ただし書に規定するもの	
		1	幅 140cm以上	
		2	戸は自動的に開閉する構造その他の車いす使用者が容易に開閉し通過可能な構造とし、その前後に高低差なし	
		3	傾斜路は次に掲げるもの	
		①	幅 140cm以上(階段に併設する場合は90cm以上)	
	②	こう配 1/20以下		
—	③	手すりの設置		
	④	両側に側壁又は立上りの設置		
	⑤	始点、終点に車いす使用者が安全に停止できる平坦な部分の設置		

3 努力基準で上乗せされる基準(不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用するもの)

整備項目	チェック		整備内容	緩和措置
	遵	努		
(努)努力基準	不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用するもの(移動等円滑化経路等を含む) (視)不特定かつ多数の者が利用し、又は主として視覚障害者が利用するもの			
出入口	—	1	屋外へ通ずる出入口の幅 85cm以上	
	—	2	戸は自動的に開閉する他車いす使用者が容易に開閉し通過可能な構造とし、その前後に高低差なし	
廊下等	—	1	階段の上下端に近接する部分に点状ブロック等(※9)を敷設	18
	—	2	(視) 傾斜路の上端に近接する部分に点状ブロック等(※9)を敷設	18
階段	—	1	踊場を含め、手すりの設置	
	—	2	段の上下端に近接する踊場の部分に点状ブロック等(※9)を敷設	19
	—	3	階段のうち1以上は、次に掲げるもの	
	—	①	踊場を含め、両側に手すりの設置	
階段に代わり、又はこれに併設する傾斜路	—	1	手すりの設置	
	—	2	(視) 傾斜の上端に近接する踊場に点状ブロック等(※9)を敷設(自動車の駐車のために供する施設に設けるものを含む)	20
便所(※6)	—	1	便所のうち1以上(男女別の場合はそれぞれ)にだれでもトイレ(※16)を1以上設置	
	—	2	次に掲げる便所(だれでもトイレを除く)を1以上設置(男女別の場合はそれぞれ)	
	—	①	床面には段差を設けない	
	—	②	大便器は1以上を腰掛け式	
	—	③	腰掛け式とした大便器及び小便器に手すりの設置(それぞれ1以上)	
宿泊施設の客室	—	1	車いす利用者用客室を、全室数が200以下の場合には1/50以上、全室数が200を超える場合は1/100+2以上設置	
	—	2	車いす利用者用客室の便所は次に掲げるもの	
	—	①	表面は粗面、又は滑りにくい仕上げ	
	—	3	車いす利用者用客室の浴室等は次に掲げるもの	21
	—	①	表面は粗面、又は滑りにくい仕上げ	
観覧席・客席(※7)	—	1	車いす使用者のための観覧席、客席を、出入口から容易に到達でき、かつ観覧しやすい位置に全席数が200以下の場合には1/50以上、200を超える場合は1/100+2以上設置	
敷地内の通路	—	1	段がある部分は次に掲げるもの	
	—	①	上下端には点状ブロックを敷設	22
	—	2	傾斜路は次に掲げるもの	
	—	①	手すりの設置	
駐車場(※8)	—	1	車いす利用者用駐車施設を、全駐車台数が200以下の場合には1/50以下、200を超える場合は1/100+2以上設置	
	—	①	車いす用駐車施設から利用居室等までの経路の長さができるだけ短くなる位置	
	—	2	車いす利用者用駐車施設又は付近に利用居室等までの経路についての誘導表示を設置	
案内設備までの経路	—	1	道等から案内設備(案内所がある場合は案内所)までの経路の一以上一次の視覚障害者移動等円滑化経路	23
	—	①	線状ブロック等(※14)、点状ブロック等(※9)を適切に敷設又は音声装置等で視覚障害者を誘導する設備を設置	
	—	②	段の上下端・傾斜路の上端に近接する部分に点状ブロック等(※9)を敷設	11

4 努力基準で上乗せされる基準(移動等円滑化経路等に追加される基準)

整備項目	チェック		整備内容	緩和措置
	遵	努		
エレベーター及びその乗降ロビー	—	1	不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する階に停止すること	
	—	2	乗降ロビーに転落防止策を講ずる	
	—	3	かごの幅 140cm以上	24
	—	4	床面積5,000㎡を超える場合 かごの幅 160cm以上	25
	—	5	車いすの転回に支障のない構造	
	—	6	かご内に、到着する階、かご・昇降路の出入口の戸の開鎖を知らせる音声装置の設置	
	—	7	かご・乗降ロビーの制御装置(車いす利用者が利用しやすい位置等)は、点字等(※13)視覚障害者が円滑に操作可能な構造	
	—	8	かご又は乗降ロビーに到着するかごの昇降方向を知らせる音声装置の設置	
	—	9	その他、高齢者、障害者等が支障なく利用できる構造(※17)	
敷地内の通路	—	1	傾斜路は次に掲げるもの	
	—	①	高さが75cmを超える場合は、75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場を設置	

(裏)

注意

- 1 整備内容欄のうち※は、備考を参照してください。また、緩和措置欄に数字が記入されているものは、備考の緩和措置を参照してください。
- 2 各整備内容についての措置が講じられている場合に、チェック欄に○を記入してください。

備考

- ※1 読み替え規定により、多数の者が利用する建築物については「多数の者が利用するもの(移動等円滑化経路等を含む。)」となる。
- ※2 不特定かつ多数の者(遵守基準)/不特定若しくは多数の者(努力基準)が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する便所を設ける場合
- ※3 不特定かつ多数の者(遵守基準)/不特定若しくは多数の者(努力基準)が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する浴室等を設ける場合
- ※4 不特定かつ多数の者(遵守基準)/不特定若しくは多数の者(努力基準)が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する観覧席、客席を設ける場合
- ※5 不特定かつ多数の者(遵守基準)/不特定若しくは多数の者(努力基準)が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する駐車場を設ける場合
- ※6 不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する便所を設ける場合
- ※7 不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する観覧席、客席を設ける場合
- ※8 不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する駐車場を設ける場合
- ※9 ブロック等で点状の突起が設けられており、かつ、周囲の床面との明度、色相又は彩度の差が大きいことで容易に識別可能なもの
- ※10 腰掛便座、手すり等を適切に配置、車いす使用者が円滑に利用できる十分な空間が確保されている便房
- ※11 浴槽、シャワー、手すり等を適切に配置、車いす使用者が円滑に利用できる十分な空間が確保されている構造
- ※12 高齢者、障害者等が見やすい位置に設置、表示すべき内容が容易に識別可能なもの(JIS Z8210に適合するもの)
- ※13 ①文字等の浮き彫り、②音による案内、点字及び①②に類するもの
- ※14 ブロック等で線状の突起が設けられており、かつ、周囲の床面との明度、色相又は彩度の差が大きいことで容易に識別可能なもの
- ※15 両側に手すりの設置、段の上下端に近接する通路部分及び段の上端に近接する踊場(250cm以下の直進のものを除く。)に点状ブロック等(※9)の敷設、階段の項目3、4、6、7②、7③
- ※16 腰掛便座、手すり等を適切に配置、車いす使用者が円滑に利用できる十分な空間を確保、一般用の便所に近接し、分りやすく利用しやすい位置に設置、出入口にだれでもが利用できる旨を表示した、車いす使用者、高齢者、妊婦、乳幼児を連れた者等だれでもが円滑に利用することができる便房
- ※17 (社)日本エレベーター協会「JEAS-C506A 車いす兼用エレベーターに関する標準」「JIAS-515E 視覚障害者兼用エレベーターに関する標準」に定める仕様に配慮

緩和措置

- 1 ①こう配1/20以下②高さ16cm以下かつこう配1/12以下の傾斜③自動車駐車施設内
- 2 ①自動車駐車施設内②踊場に段がある部分と連続して手すりを設ける場合
- 3 回り階段以外の階段を設ける空間を確保することが困難である場合
- 4 主として高齢者、障害者等が利用する階段を除き、移動等円滑化経路等を構成するエレベーター及び乗降ロープを併設の場合は適用外ただし、建築基準法施行令第25条に階段の手すりの設置規定あり
- 5 1①②③に該当する場合、踊場に傾斜がある部分と連続して手すりを設ける場合
- 6 同一階に不特定かつ多数の者が利用する便所(男女別の場合はそれぞれ)が一以上ある場合
- 7 不特定かつ多数の者が利用(遵守基準)/不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用(努力基準)する浴室等(男女別の場合はそれぞれ)が一以上ある場合
- 8 当該EVその他の昇降機、便所、駐車施設の配置を容易に視認可能な場合を除く。
- 9 2①に該当する場合、案内所から出入口を容易に視認可能で道等から出入口までの経路が視覚障害者移動等円滑化経路に適合する場合
- 10 進行方向を変更する必要がない風除室内
- 11 1①②に該当する場合、段又は傾斜がある部分と連続して手すりを設ける踊場等
- 12 「エレベーター及びその乗降ロープ」に定めるエレベーター、「特殊な構造又は使用形態のエレベーターその他の昇降機」に定める昇降機、次に掲げる傾斜路を設けている場合
 - ①幅は段に代わるもの140cm以上、段に併設するもの90cm以上②こう配は1/20未満③高さが75cmを超えるものは高さ75cm以内ごとに踏み幅150cm以上の踊場を設置
 - ④手すりの設置⑤両側に側壁又は立上りを設置⑥傾斜路の始点、終点に、車いすが安全に停止することができる平坦な部分の設置
 - ⑦前後の通路と色の明度、色相又は彩度の差が大きいことでその存在を容易に識別可能
- 13 道路の歩道に沿って歩道上空地が設けられている場合の当該歩道上空地
- 14 「エレベーター及びその乗降ロープ」に定めるエレベーター、「特殊な構造又は使用形態のエレベーターその他の昇降機」に定める昇降機、次に掲げる傾斜路を設けている場合
 - ①幅は段に代わるもの140cm以上、段に併設するもの90cm以上②こう配は1/12未満③高さが75cmを超えるものは高さ75cm以内ごとに踏み幅150cm以上の踊場を設置
 - ④手すりの設置⑤両側に側壁又は立上りを設置⑥傾斜路の始点、終点に、車いすが安全に停止することができる平坦な部分の設置
 - ⑦前後の通路と色の明度、色相又は彩度の差が大きいことでその存在を容易に識別可能
 - ⑧傾斜の上端に近接する踊場の部分には、点状ブロック等(※9)を敷設(こう配1/20未満のもの、高さ16cmを超えないもの、直進で250cm以下の踊場を除く。)
- 15 ①自動車駐車施設内②点状ブロック等の敷設が施設の利用に特に支障を来す場合
- 16 他に授乳及びおむつ交換のできる場所を設ける場合
- 17 自動車駐車施設内に設けるもの
- 18 1①②に該当する場合
- 19 踊場が直進の250cm以下の場合
- 20 1①②、19に該当する場合
- 21 不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する浴室等(男女別の場合はそれぞれ)が一以上ある場合
- 22 点状ブロック等の敷設が利用上特に支障を来さず場合⇒仕上げの色を変える等の代替措置
- 23 案内所から出入口を容易に視認可能で道等から出入口までの経路が視覚障害者移動等円滑化経路に適合する場合
- 24 構造上やむを得ない場合において、車いすで利用できる機種を採用する場合
- 25 かごの出入口が複数あるエレベーターで車いすで円滑に利用できるもの又は15人乗り寝台用エレベーターを設置する場合